



コロナ禍でも心ひとつに演奏 ★南が丘小学校「学習発表会」

注：感染症予防対策をしていますが、合奏中は声を出さないためマスクは外しています。

ここに
注目!!

町民約9割がワクチン接種終える

令和3年第3回定例会が9月14日に行われ、条例の制定、一部改正や各会計補正予算など、提案された案件を審議し、全て原案通り可決しました。

また、7人の議員が一般質問を行い、さまざまな観点から町政に問いかけました。



新型コロナウイルスワクチン接種による感染症拡大防止と地域経済の活動再開に向けて

1回目 89.27%
2回目 88.12% が接種を終える (10/10現在)

補正予算

◇江差町地域公共交通活性化協議会負担金

722万7千円 (全額一般財源)

法定協議会の各種調査事業を実施するための経費負担金。

◇新型コロナウイルスワクチン接種体制確保

803万4千円 (全額国庫支出金)

想定より接種希望者が多く、体制の拡充・強化したことによる経費及び休日接種委託料の補正。

◇健康管理システム導入

441万円 (国庫支出金他)

町民の健康情報を一元化し、経年データの管理を行い、健康情報を正しく把握できる体制を整備。

◇農業次世代人材投資事業

150万円 (全額道支出金)

国の新規就農者に対する支援で、経営が安定するまで最長5か年支援金を給付するもの。

◇江差町産業担い手育成事業

100万円 (全額一般財源)

次代を担う人材確保のため、新たに農業・漁業者を志向する者へ奨励金を交付し財政支援を行う。

◇町道除雪対策

4,251万4千円 (全額一般財源)

町道の除雪に係る作業員の給料や重機借上使用料、防雪柵設置の委託経費や除雪委託等の経費。

◇江差港マリーナ施設整備事業

1,166万3千円 (道支出金他)

老朽化や塩害による腐食等によるボートリフター制御盤等を整備。

◇令和3年度学習支援用スキー用具整備

207万5千円 (その他特定財源他)

学校のスキー授業等で使用する用具購入経費。

◇かもめ島法面崩落防止他工事

818万4千円 (全額一般財源)

かもめ島北部の西防波堤付近の法面崩落に対する安全確保のため、崩落防止対策工事を行うもの。
<国民健康保険費特別会計>

◇インフルエンザ予防接種支援

161万7千円 (道支出金他)

<介護保険特別会計>

◇令和2年度介護給付費負担金等返還

1,190万1千円 (全額一般財源)

介護給付費負担金等返還経費の補正。

新型コロナウイルス感染症対策 地方創生臨時交付金事業

◇インフルエンザ予防接種支援

719万1千円 (全額国庫支出金)

医療機関負担軽減のため、接種費用の全額助成をし、重症化予防と感染者のまん延防止を図る。

◇アワビ養殖漁業モデル推進事業

550万円 (全額国庫支出金)

養殖漁業を実施し、ふるさと納税返礼品として出荷することで、安定した収入確保とする試験的な取り組みを行う経費を支援。

◇地域経済活性化支援事業

100万円 (全額国庫支出金)

江差商工会が北海道の補助制度を活用し、商店街等と連携して取り組む感染防止対策等の事業への支援

第3回定例会 こんなことが決まりました！

条例制定

- ◇過疎地域における固定資産税の課税の特例に関する条例の制定
国の法律施行に伴う条例の制定

条例改正

- ◇江差町過疎地域自立促進基金条例の一部改正
- ◇江差町企業立地の促進及び雇用の奨励に関する条例の一部改正
国の法律施行に伴う関係条文の改正
- ◇江差町個人情報保護条例の一部改正
- ◇江差町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
国の法律改正に伴う関係条文の改正

人事

- ◇教育委員会委員の任命
加川 千秋 氏
(尾山町・56歳)
任期は令和7年9月30日まで



健全化判断比率等の報告

実質公債費比率 15.6%
早期健全化基準の25%と比較すると9.4ポイント下回っている。前年度比較0.9ポイント改善している。

将来負担比率 58.8%
早期健全化基準の350.0%と比較するとこれを下回っている。前年度比較13.4ポイント改善している。

決算認定

各会計の令和2年度決算認定について、閉会後に開催される各会計決算審査特別委員会に付託。
一般会計歳入歳出決算ほか8会計

その他

- ◇権利の放棄
国民健康保険不当請求の返還金について、裁判所による免責許可の決定確定に伴う未償還債権を放棄するもの
- ◇江差町過疎地域持続的発展市町村計画の策定

臨時会

7月15日に第3回臨時会が行なわれ、一般会計の補正予算等について審議し、原案どおり可決、閉会しました。
内容は次のとおりです。

- ◆和解及び損害賠償額の決定
江差北中学校駐車場付近の除草作業中、駐車中の車輛に損害を与えたもの。
- ◆新型コロナウイルスワクチン接種体制確保
326万8千円
(全額国庫支出金)

- ◆江差町手数料条例の一部改正
国の法律改正に伴う改正。
 - ◆新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業
1,476万9千円
(全額国庫支出金)
- 江差町ふるさと特産品PR事業、姥神祭り消費拡大キャンペーン、(仮称)かもめ島の秋まつり、江差追分「キズナ」プロジェクト、AIカメラ体温測定システム整備の5事業を実施するための補正。

急傾斜地と大規模盛土の公表

改めて住民周知を図る

- Q 第2次スクリーニング調査当該地がホームページで公表されているが、とても分かりづらい。担当課の見解は。
- A 昨年度、現地へ入る段階でチラシや図面で周知したが、今後改めて調査結果を踏まえ、住民周知を図っていく。

緊急質問

大規模盛土の危険性は

ボーリング調査を実施予定

- Q 熱海市で大規模土石流が発生。江差町は大規模盛土に対する大規模災害の大きな危険性はないとしているが、今後の対応は。
- A 昨年度、第2次スクリーニング計画策定にあたり調査を実施。来年度ボーリング調査を行なう予定。

第3回定例会 行政報告

定例会で次のとおり、町長が行政報告をしました。



- 1 新型コロナウイルスワクチン接種状況について
高齢者優先接種は7月28日に終了。8月4日から64歳以下の集団接種を開始。集団接種は10月8日で完了見込み。
- 2 公立大学法人公立はこだて未来大学との連携事業に関する協定締結について
連携事業に関する協定を締結。地域公共交通に関する分野をメインに取り組む。
- 3 元山地区「江差風力発電所」風車の更新に関する情報提供について
事業者から風車更新と経営体の変更について説明があったことの情報提供がされた。
- 4 災害時における避難所等施設利用に関する協定について
社会福祉法人あすなろ福祉会の本部4階一部を避難所として活用できるよう協定を締結。
- 5 寄附採納について
 - ・合同会社ユーラス江差風力
代表社員 株式会社ユーラスエナジーホールディングス
職務執行者 高瀬 達秀 様
現金190万円（地域振興のために）
 - ・株式会社北辰運輸 代表取締役 矢原 幸康 様
現金100万円（小学生のスポーツ振興充実のために）
 - ・江差経済同友会 会長 小笠原 弘 様
現金100万円（幼児・園児の情操教育の進展のために）

意見書を提出

9月定例会では9件の意見書を提出し、8件が可決され、関係行政機関へ提出しました。

- ◆辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書
- ◆沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないよう求める意見書
- ◆「国の責任による『20人学級』を展望した少人数学級のさらなる前進」を求める意見書
- ◆特別支援学校の実効ある設置基準の策定及び特別支援学級の学級編制標準の改善を求める意見書
- ◆国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書
- ◆適格請求書等保存方式（インボイス制度）の導入中止を求める意見書
- ◆コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書
- ◆国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

一般質問 七議員が町政を問う

議員にとって「一般質問」は、議場という公の場で、町長や教育長に対して町政運営の考え方や将来に対する方針を質することができる唯一の場です。

◆質問は要約されています◆

議会だよりのスペースの都合上、質問・答弁は要約したものを載せています。

◆表示の説明◆

文中の(問)、(再問)はそれぞれ再質問、再再質問を表します。



西海谷 望 議員 (無党派)

9月定例会 一般質問

九艘川公園の今後は

答 各課連携し取り組む

中歌町九艘川公園は、令和元年度から九艘川公園魅力化プロジェクトを立ち上げ、その活用策に向けた取り組みを進めている。

そのプロジェクトの今後の方向性について伺う。

また、休止している土蔵トイレの再活用は、

町長 今後も、地域の憩いの場として集え、日常的に利用頂ける公園となるよう、役場内関係課の横断的な連携を図りながら取り組む。

土蔵トイレの再活用は、立地場所もよく、利便性が高い町会所のトイレの他に、もう1か所開設することは、コスト面から考えても非効率であり、トイレとしては再開しない。
再 このプロジェクトは、地域の皆さんが主体にならなければ活かせない。

この公園をもっと活用させるためには、地域との関わりをどのよ

うに持つかが大切。

地域の皆さんが関わることに、魅力のある地域の場としての利活用、再活性になると考える。

土蔵トイレも、地域の皆さんと再利用策を検討しては如何か。

副町長 町としても、公園整備を地域の方々

の参画を得ながら今やっている。地域に活かされた公園になるために、地域の声も含めて、少しでも前に進めるような状況が生まれるのであれば、それらも町として検討したい。



小学生による景観ワークショップ

公立はこだて未来大学との連携

答 相手方の強みを生かす

平成28年に北海道教育大学函館校、昨年にはサツドラホールディングス株式会社とそれぞれ連携協定を締結し、町づくりを推進している。

今回の公立はこだて未来大学との連携で、どのようなことを町づくりに活かしていくのか伺う。

町長 本協定は、両者が連携事業を通して、地域の課題に迅速かつ

適切に対応し、活力のある個性豊かな地域社会の形成、発展に寄与することを目的とし、

町としては、同大学が研究している情報技術や人工知能の技術を活用しながら、住民生活の向上や地域格差を是正する取り組みを期待している。

取り組みのスタートとして、町が策定する地域公共交通計画において、同大学の知見に

の強化に取り組んでいかなければならないが、これまでの職員体制で担わせるのは負担が大

財政基盤強化担当の配置理由 答 現体制では負担大

本年あえて財政強化担当職員を配置した理由と、その効果をどう期待しているか。

財政強化において、ふるさと納税、企業版ふるさと納税制度の活用は非常に有効。その取り組みは。

町長 近年は財政調整基金の取り崩しにより予算編成している状況。そのため、財政基盤

現在、たたき台を協議しており、成案がまとまり後、議員へも説明する機会を設ける。

よる支援を受けながら、より利便性が高く、効率的な運行体系を目指した取り組みを進めることで協議している。

町は北海道教育大学函館校、サツドラホールディングス株式会社とも連携協定を締結しており、多岐に渡る江差町の課題について、少しでも改善できるように、それぞれの相手方の強みを活かしながら、事業展開していく。

ふるさと納税は貴重な収入源のため、上積みできるような、専門員を配置し、精力的に業務を推進している。企業版ふるさと納税は、いまのところ件数も金額も少ないが、引き続き直接的なPRに努めるほか、増額につながる取り組みを今後



議員(無党派) 徹

萩原

9月定例会 一般質問

かもめ島上に新たな施設は 新たな施設整備はない

答 今年、かもめ島では、旧花月の解体、8月からはマリリンピングが開始され、また、コロナ禍の中ではあったが、海水浴場も開設され、多くの人が訪れた。そこで、かもめ島の施設等について伺う。

1点目。入口から島上上がる階段までの木製で作られた歩道が、コンパネ等で修繕されている。傷みがひどく、新しく作り直してはどうか。

2点目。現在2か所トイレがあるが、洋式化を含め、修繕計画はあるか。

3点目。シャワー室も現在水のシャワーであるが、温水シャワーにする計画はあるか。

4点目。旧寺子屋の売店は町の所有物ではないが、今後の活用策はどう考えているか。

最後に、今後のかもめ島を活用するうえで、新たに作る施設はあるのか。



利用で賑わう前浜海水浴場

町長 遊歩道は、整備から20年あまり経過し、応急的な修繕をしてきたが、腐朽箇所が土台の部分にも及んでおり、大規模な修繕や新たに整備することも検討しなければならぬが、耐久性がある素材での整備、複数年で整備できないか等を今後検討する。

島上では毎年多くの方がキャンプし、地域活性化策の主要な事業の一つとしてグランピングも実施しており、利用者からトイレの洋式化を望む声が寄せられているが、他の公共施設も含めた中で、洋式化を検討する。

道内でもまだ冷水シャワーの海水浴場も見受けられるが、これまでも利用者から温水化を望む声も寄せられており、整備に係る経費や稼働経費がどれ位かかるのかを判断材料とし、温水化の是非を検討する。

旧寺子屋売店は民間事業者が所有しているもので、町がイベントなどに使用するのであれば是非活用をと、無償でお貸し頂いている。今後、コロナ禍が落ち着き、ある程度人の流れが許される状況となったら、北の江の島構想の賑わい創出、かもめ島周辺の賑わい創出のために、どのような活用していくべきかをあらためて検討する。

最後に、かもめ島の魅力である自然景観を大切にすることを、現時点で北の江の島構想においても、新たな施設を整備する予定はない。



開陽丸管理棟前にある
温水シャワー完備のマリーナ艇庫

再 今年もたくさん海水浴に来られたが、町外の方が多い。

当然、町外から来るという事は、車で来ると。海水に入ると、やはり上がってからの塩で体がベタベタするという事で、シャワーも使うし、近年ダイビングスクール等も来ていて、冷たい水だとシャワーが嫌だなというようなことを良く聞く。

シャワーの有料化も含め考えてはどうか。

財政課長 冷水のシャワーは数は少なく、9割方、他の海水浴場は温水シャワーで有料化し、お金をとって運営している。

これは燃料代とか経費がかかる観点から有料化していると思うが、町としては、有料化しながらの温水化も選択肢の一つであり、経費も含め検討する。

また、今ある施設、例えばマリーナの艇庫に温水シャワーがあるが、現にあるものを使えないか、色んな視点から検討していく。



眞議員 (無党派)

塚本

9月定例会 一般質問

一次産業への継続支援を

答 まずは状況を把握

一次産業では燃油や生産資材の値上げ、コロナ禍により、漁業では高級魚が価格低迷し、海水温の上昇等に起因する記録的なイカの不漁により、漁業経営は極めて厳しく、農業も、飲食店の休業などによる米の需要の落ち込みにより、水稻の作付けを減らざるを得ない状況で、基幹作物の水稻分野の影響を受け、農業経営も同様に圧迫されている。

昨年度も、コロナ対策で各種対策を講じているが、本年度も一次産業は好転していない。真水というか、それらの支援が必要と思うが、町の考え方は。町長 近年不漁が続いているイカ漁を主とする漁業者にあつては苦しい経営環境にある一方、サケの9年ぶりの豊漁や、前浜のウニ漁が好調であり、ナマコの出荷単価も高値で取引され、背景には漁業

プラスチックの回収対策は

答 町独自の回収は困難

者の地道な作業が実を結び、つくり育てる漁業の推進が、今後の漁業振興のうえでの重要であり、本定例会にも、アワビ養殖漁業モデル推進事業を補正予算案として上程している。農業では、全体で主食用米約227.5ヘクタールを作付けしているが、主食用米の在庫の滞留を懸念し、飼料用米を作付けする圃場が増加し、令和2年と比較して、約2倍の面積となり、来年以降もこのような傾向が続くことが予測される。米価も、昨年に比べ約2割程度下回る見込みであり、今後の消費次第では、さらに引き下がるのが想定され、漁業と同様、本町の農業を取り巻く環境は厳しさを増している。まず、漁業全体の水揚げや農業の販売金額等の状況を把握し判断する。

プラスチック使用製品の設計から廃棄物処理に至るまでのライフサイクル全般、プラスチック資源循環の取り組みを促進するための措置が、本格的に来年4月から実施される。来年度から、家庭から出るプラスチックごみを一括回収する自治体に対して財政支援が受けられることになり、財政措置が講じられる。ゴミ収集については、南部松山衛生処理組合が第一義的には実施しているが、町としても、衛生処理組合とこれらの対策に対しての連携を含め、今後の対策を検討していく必要があるが町の対応は。

難しい。南部松山衛生処理組合においても、施設の延命化には、リサイクルの実施は避けて通れない課題となっており、施設の整備計画について組合構成町と協議をしている。今後、プラスチックごみを含めたりサイクルの推進について、これまで以上に南部松山衛生処理組合や組合構成町とも情報共有しながら進める。

改めて確認するが、市町村はプラスチック使用製品廃棄物について、分類の基準を策定して、当該基準に従って適正な分類排出を促進するために必要な措置を講ずるよう努めるとあるが、これは理解しているか。

総務課長 環境省のアンケート結果でも、大部分の市区町村が対応が未定で、簡単にできるものではない。分別収集はハードルが高く、道内市町村の状況を注視しつつ、今後の分別収集策定の参考とする。

町長 国からの財政支援内容によっては検討材料とするが、町独自で、プラスチック資源の分別収集となると、経費的なこと、ストックヤード的な保管場所の確保、回収及び運搬方法など課題が多く、

町内各所に設置されているペットボトル回収ボックス



延命化が必要な最終処分場



大門 和幸 議員 (無党派)

9月定例会 一般質問

北部保育園の統廃合

答 年度内に方向性示す

以前、議会で施設の老朽化が著しい日明保育園と水堀保育園の統廃合について質問し、また、町長の執行方針でも、北部保育所の在り方について、方向性を検討するとあるが、現在の状況を伺う。

町長 日明保育園は築42年を経過、水堀保育園は築50年を迎える老朽施設。

2園は老朽化に加え、日明保育園は土砂災害警戒区域内に位置し、水堀保育園は、水防法における洪水浸水想定区域に指定されており、



統廃合が検討されている2保育園
(上：日明保育園、下：水堀保育園)

安全な場所での保育や今後の子どもの数の減少も考慮しなければならぬ。

現在、いくつかの候補地に絞り、それら立地場所のメリットやデメリット、数年後の子ども数の数などを考慮しながら検討している。

町としては、年度内において一定の方向性を示し、その後、具体的な統廃合、更には財源対策や地域理解を得るためのスケジュールなどについて、議会に示させて頂く。

給食費の負担軽減を

答 移転時までに検討

町長に就任後、高校生までの医療費無償化等、子育て世帯の負担軽減に取り組んでいるが、追加での子育て支援が必要。

令和4年8月運用を開始する、新しい給食センターでは米飯も提供され、給食費の負担増額が予想される。

上ノ国町が既に無償化を実施しているが、江差町も学校給食の無償化を進め、保護者の経済的な負担軽減が必要ではないか。

教育長 米飯提供に係る給食費の値上げとして、小学校では200円、中学校では300円程度を想定。

今後、学校給食組合運営委員会への諮問を経て、新たな給食費を決定する。

保護者負担の更なる軽減、無償化については、新たな給食センターへの移転時までに、近隣町の助成状況等を踏まえ検討する。



一度に大量の調理が必要な給食センター



毎日楽しみにしている学校給食



小梅 洋子 議員 (無党派)

9月定例会 一般質問

出前介護の今後の在り方

答 活動は住民主体で

転ばん塾等、各地域に出向いての出前介護が行われ、かつては月2回実施されていた事業だが、平成28年より月1回に変更された。月1度だと、病院の予約日等の重要な用事と重なったら参加できず、空白期間が長くなり残念という声がある。

昨年からはコロナ禍となり、事業の休止と再開が繰り返され、時間も短縮されたりで、参加者の足並みも乱れ減少している。

介護予防の大事な事業で、このままでは継

公的な避難訓練が必要

答 次年度以降実施する

例年だと町内会等の集まりで、防災のビデオを見たり逃げ場の確認をしたりしているが、コロナのため、集まる機会も失われ、自主防災となつてい

身を守るには逃げるのが一番だが、ハザードマップ等の図上や頭で理解していても、行動してみないと分からない。

公的に町をあげての避難訓練が必要と思うが如何か。

避難所運営の立派なマニュアル本が配布さ

れているが、その勉強会や説明会の予定はあるか。

町長 今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、全町的な実施は現在の状況では難しい。

次年度以降は、町として3年から4年のサイクルで全町内会、自治会が、各地域の災害種別等に応じて、複数町内会合同での避難訓練や図上訓練、防災講話を実施する。

避難所運営マニュアルのほか、昨年から整

備を進めている避難所における新型コロナウイルス感染症対策備蓄品の使用方法を含めた避難所運営訓練を、北海道のサポートを受けながら11月以降に実施する予定。

また、現在刷新作業を進めている防災ハザードマップ作成に併せ、10月下旬ごろに防災ワークショップを開催し、自らの地域の災害リスクについて、自助、共助に資する場を設ける予定。

開陽丸甲板の無料開放を

答 財団側と検討する

開陽丸の甲板を町民に無料開放できないか。甲板からの景観は格別です。

各種資料とか遺物等、展示品は前に見ているが、景観を楽しみたい人や、子ども一

最終的に判断するのは

町長 一般財団法人開陽丸青少年センターは、観覧料の規定で、町内の小中学生は教師が引率する場合に無料と定めており、無料の範囲は限定的となっている。

最終的に判断するのは財団であるが、町としても、町民が開陽丸をより身近に感じることができると方法について、財団側と十分検討したい。

緒に散歩がてら寄ってみたい人、また小学生グループの元気な声が賑わいを生み、その辺を賑やかにしていたらぶらっと江差の売り上げにも繋がるのではな



景観の良い甲板の無料開放を

定例会 議案審議 行政報告 一般質問 委員会 出欠報告



小林くにこ 議員 (日本共産党)

9月定例会 一般質問

オンライン授業への移行 答 全学年へは時間が必要

感染力の強いデルタ株に置き換わり、換気の頻度が減少する冬期を迎え、学校でのクラスターが発生し、臨時休業するとの想定で質問する。

対面授業からオンライン授業への移行はスムーズに実施できる状態か。学童また教員の習熟度も含め、進捗状況は。

感染状況により、やむを得ず登校できない児童、生徒に対するICTを活用した学習指導をするためのチェックリストと、各学校がGIGAスクール構想で整備されたコン



一人一台のタブレット端末

ピューターを活用した学習を進めるための今後について伺う。
教育長 小学校の高学年や中学校において、タブレット端末を試験的に自宅に持ち帰り、操作確認等を行っているが、全ての学年でオンライン授業を実施するには時間を要する。児童生徒の年齢や家庭の通信環境等によっては、全てをオンライン授業とすることの困難性を感じており、感染状況に応じて、分散登校等による学びの継続も必要と考えている。GIGAスクール構想により整備された各種ICT機器は、児童生徒の発達段階に応じ、各学校において積極的な活用を図っており、児童生徒の主体的な活用により、学習効果を高め、より良い授業づくりを推進し、加えて、社会に出て役立つ情報活用能力の育成へと発展させる。

PCR検査の適用拡大を 答 医療機関と協議が必要

再 学級閉鎖、学年閉鎖、学校全体の臨時休業、いずれの場合も設置者が要否を判断することになってはいるが、保健所等との協議も踏まえ、基準がはっきりしきり設けられているか。
 臨時休業を行う場合には、出席停止等の対象となっていない幼児に対し、居場所の確保に向けた取り組みを検討とあるが、江差町の現在の想定は。

学校教育課長 文科省は、学級閉鎖もしくは学年閉鎖に関するガイドラインを示しているが、いずれにしても、保健所や関係課と協議をし判断する。

町民福祉課長 保育所の感染防止対策に関わる運営マニュアルというのを昨年策定し、対策を定めている。保育所の指示、アドバイスを頂き進める。

現在、町では感染防止対策として、高齢者施設及び介護保険施設等従事者へのPCR検査事業を実施している。施設従事者が緊急事態宣言地域への止むを得ない往来等があった場合のみに限定されているが、医療機関、教育機関、役員職員及び商業施設の従事者の希望者を対象に、検査事業の適用範囲を広げる考えは。

町長 検査対象の拡充は有効な対策の一つだが、PCR検査を実施して頂く医療機関にも負担をかけるなど協議が必要。
 町民がやむを得ない理由で緊急事態宣言地域や感染流行地との往来等、感染リスクを伴う行動をとった場合に、感染拡大防止と町民の精神的な負担軽減を目的とした対策を、他の自治体が実施している感染拡大防止の取り組みを参考に検討する。

副町長 抗原検査と抗体検査は違う。
 町内のドラッグストアでも抗体検査キットは販売が開始された。
抗原検査キットで、町民を広く検査することは望ましいが、膨大な費用がかかる。
 道立病院は、感染者が出た場合の基地局になっており、合わせて江差町独自で高齢者施設等、介護施設等の検査もやって頂いている現場で、通常のPCR検査は厳しいのではないか。

再 抗体検査キットも市場に出回り始め、大量購入契約により定価より安価に購入できることも、交渉次第では可能。
 是非、檜山各町とも連携し、検査拡充の体制を検討して頂きたいが如何か。



出崎 太郎 議員 (無党派)

9月定例会 一般質問

崩落危険箇所等の確認を

答 維持管理は北海道

ハザードマップによると、町内には市街地や鹹川等に多くの土石流危険渓流、急傾斜地崩壊危険箇所及び市内に1か所の地滑り危険箇所がある。

熱海市の土石流被害が記憶に新しいが、この地域にも想定外の降雨がないとは限らない。居住地域の地盤は一見落ち着いているように見えるが、想定以上の雨が降った場合の挙動は未知な部分がある。町では一部過去の大規模盛土造成地の調査を始める。被害を食い止めるために、前述の危険箇所についてチェックする必要があると思うが如何か。



急傾斜地等のチェックを

雨の事前処理、これが非常に重要であり、強い降雨が予想される前のパトロール等で、地表水排水施設の障害物除去や地下への浸透防止処置の必要性を見つけた場合、どう対処しているか。

町内には沢山の危険箇所があり、行政だけでは対応しきれない。住民の協力を得て、危険要因を、雨の降る事前排除をする仕組み作りに着手する考えはないか。

町長 急傾斜地等の土石災害危険箇所の管轄は北海道。維持管理も北海道で、年1回の定期、月1回の通常パトロールと、大雨出水後等の異常時パトロールを実施している。

また、町も警報発令時などは、関係課が連携し、河川や土石災害危険箇所のパトロールを実施している。土石災害危険箇所以外でも、大雨や台風時

またはその前後で町民が異常を確認した時は、町や関係機関に通報して頂くよう周知する。

機会あるごとに町内会等へ地域の防災活動について取り組みへの働きかけと連携協力をしていく。

再 重要なのは、そこに降る雨の事前対策だと思っている。

危険な区域で雨だとかが予想された時に、パトロールや、亀裂を発見したらブルーシートはるとか、側溝にゴミが溜まっていたら掃除するとか、そういう事前処置が非常に大事。

誰がどうするかまで詰めた対策をお願いしたいが如何か。

副町長 ここ数年の大雨の短期的な雨量等を考え、あらかじめ現場を持っていく担当も含め、状況は一定程度把握しており、これまで以上にパトロール、点検含めて取り組む。

自宅療養対応の方針は

答 保健所と連携し対応

新型コロナウイルス感染者の増加に伴い、国では軽症者の自宅療養に舵を切っている。

自宅療養は、家族への感染拡大や患者の不安感や恐怖心を生じさせることになり、望ましくないと考ええる。

幸い町では、そこまでの状況にないが、自宅療養対応についての基本的な考え、方針について伺う。

町長 新型コロナウイルス患者の増加により、医療が逼迫しないよう、北海道においても軽症者や無症状者は一定の条件で自宅での療養を行っている。

江差保健所に確認したところ、南檜山の新型コロナウイルス患者の対応は、入院もしくは宿泊施設での療養を原則として調整をしているが、身体状況や自宅、家庭環境を考慮し、陽性者本人と相談の上、自宅での療養になる場合もあるとのこと。

その場合は、江差保健所が酸素飽和度測定器を貸し出した上、1日2回の電話で検温や身体状況等を確認し、変化が見られた場合は入院等の調整を図ることになっている。

自宅療養中は北海道が食料と日用品を配送することになっており、毎日の健康観察のための電話により、生活上の困りごと等を保健所が確認した場合、必要時、町も保健所と協力、連携し対応して参りますし、また、宿泊療養先である函館市内のホテルは函館市、渡島管内の患者の増加により不足することが考えられるが、宿泊療養先の拡大について、町単独では困難なため、保健所や檜山振興局を通じて北海道に対して要望していく。

定例会 議案審議 行政報告 一般質問 委員会 出欠報告

よりよい町づくりのために

総務産業常任委員会『かもめ島周辺の拠点化施設に関する事務調査』

町では、令和3年第2回定例会（6月15日）において、「北の江の島拠点施設整備基本構想」策定のため、構想策定委託経費として8,300千円を補正しました。

未だに「北の江の島構想」の全体構想（イメージ）が示されていない中で、その拠点施設を整備するとしています。江差町議会としても、委託先は総務省地域力創造アドバイザーの大山氏とされ、来年2月下旬には、拠点施設整備基本構想が策定されるため、それを待つのではなく、どのような拠点化が「かもめ島周辺」には相応しいのか、地元町民の声の代弁者として、議会側からの提案を行うために、総務産業常任委員会（小梅洋子委員長）は、令和3年第3回定例会で事務調査をおこし協議しています。

北の江の島構想において、現「江差海の駅 開陽丸」（管理棟）に新たに「道の駅」機能を付加しながら、観光客が集う新たな交流人口の拡大を図るとともに、町民も目指す場所となるための拠点施設整備の基本的な方針を定めます。



道の駅機能を追加予定の「海の駅開陽丸」



北の江の島構想の全体像は

「北の江の島拠点施設整備基本構想」策定について

- 事業の概要
北の江の島構想において、現「江差海の駅 開陽丸」（管理棟）に新たに「道の駅」機能を付加しながら、観光客が集う新たな交流人口の拡大を図るとともに、町民も目指す場所となるための拠点施設整備の基本的な方針を定めます。
- 本構想策定の基本的な考え方
四季を通じ、町内外の子どもや親子連れ、若者が目指す施設整備を目指します。全体構想を進めるにあたって、いしえ街道との連絡、国道交差点改良、南ふ頭用地の活用などに関しては、拠点施設整備の方針を踏まえながら、その在り方を明確にしていきます。
- 策定期間
令和3年7月から令和4年2月下旬（予定）
- 策定経費
8,318千円
内訳：構想策定委託8,300千円、テレビ会議システム使用料18千円
財源：事業費のうち、5,600千円は特別交付税措置対象
- 委託先
大山詠司氏（総務省地域力創造アドバイザー）
- 拠点施設機能のイメージ
「海の駅」「道の駅」「開陽丸青少年センター管理棟」
子ども広場、カフェ、事務所、物販、トイレ

令和3年第2回定例会資料

社会文教常任委員会『学校施設整備に関する事務調査』

GIGA（ギガ）スクール構想は、新型コロナウイルス感染症の大流行を受け、その必要性が急速に高まり、2023年度までとした当初目標を3年前倒しし、急ピッチで整備が進められてきた。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大は終息しておらず、校内での拡大防止対策のための整備も合わせて行われており、これらの急速な変化による江差町の学校現場の現状と、どのような課題や対応が必要なのか調査するため、社会文教常任委員会（小野寺真委員長）は、令和3年第3回定例会で事務調査をおこし協議しています。

GIGA スクール構想の実現へ

1人1台端末は令和の学びの「スタンダード」
多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、子供たち一人一人に公正に個別最適化され、資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境の実現へ

文部科学省

【GIGAスクール構想】とは

- 1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する
- これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す

一斉学習	・教師が大型提示装置等を用いて説明し、子供たちの興味関心意欲を高めることはできる	⇒	・教師は授業中でも一人一人の反応を把握できる →子供たち一人一人の反応を踏まえた、双方向型の一斉授業が可能に
個別学習	・全員が同時に同じ内容を学習する（一人一人の理解度等に応じた学習は困難）	⇒	・各人が同時に別々の内容を学習 ・個々人の学習履歴を記録 →一人一人の教育的ニーズや、学習状況に応じた個別学習が可能
協働学習	・意見を発表する子供が限られる	⇒	・一人一人の考えをお互いにリアルタイムで共有 ・子供同士で双方向の意見交換が可能に →各自の考えを即時に共有し、多様な意見にも即時に触れられる

全員協議会を開催しました！

8月30日に開催した全員協議会について、その内容をお知らせします。

8月30日

・コロナウイルスワクチン接種の進捗状況について

4月下旬から開始したワクチン接種は、7月28日で高齢者の優先接種を終え、8月4日から64歳以下の接種を始めた。1回目の接種は81.4%が終え、最終的な接種率は約84%と見込んでいる。

・オリパラホストタウン推進事業における事後交流事業の中止について

当初計画していた事後交流等をリモート等での交流も模索してきたが、相手側から辞退の申し出があり、中止となった。

・江差町産業担い手育成支援事業について

多様な人材が就業できる環境整備の一つの柱として、経営開始時の財政支援と営業支援とし、新規就業者へのサポートをしていく。

・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について

今後流行期を迎える季節性インフルエンザとの同時流行回避のための予防対策等、緊急事態宣言による状況等を踏まえ、有効活用策を総合的に検討している。

・緊急事態宣言発令に伴うイベント行事等の対応について

各保育園の運動会や修学旅行、宿泊研修の延期、えさしオータムフェスタinかもめ島の中止等、一層の感染拡大防止対策を講じる。



出欠状況をお知らせします！

令和3年6月15日から9月30日の出欠状況です。斜線部分は出席する必要のない会議です。

会議名	会議日	総務産業常任委員会						社会文教常任委員会					議長	
		小梅洋子(委)	小林くにこ(副)	飯田隆一	室井正行	塚本真	大門和幸	小野真委	出崎太郎(副)	薄木晴午	西海谷望	萩原徹		
第2回定例会	6月15日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第3回定例会	9月14日	○	○	○	○	○	○	●(私用)	○	○	○	○	○	○
第3回臨時会	7月15日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
全員協議会	7月15日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8月30日	○	○	○	○	○	○	●(私用)	○	●(私用)	○	○	○	○
総務産業常任委員会	6月15日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7月15日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9月14日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
社会文教常任委員会	6月15日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8月24日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会広報特別委員会	6月15日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7月5日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7月19日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会運営委員会	6月15日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7月15日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9月6日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決算審査特別委員会	6月15日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9月14日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見交換会	8月6日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：出席 ▲：欠席（公務） ●：欠席（傷病・出産・育児・看護・介護・私用）

議会で決まったけど、その後はどうなった？

令和3年第1回定例会（3/11）当初予算
（旧JR江差駅跡地横を廃止し、旧檜山爾志郡役所へ新設）



旧JR江差線資料展示室整備
51万円（全額一般財源）



旧檜山爾志郡役所江差線展示新設
116万1千円（全額一般財源）



議会の動き

- | | |
|---------|--|
| 7月15日 | ◆第3回臨時会（出席12名）
◆総務産業常任委員会（出席6名）
・事務調査事件について |
| 19日 | ◆広報特別委員会（出席5名）
・8月号議会だよりについて（2回目） |
| 8月6日 | ◆北の江の島拠点施設整備基本計画策定に向けた議会議員との意見交換会（出席11名） |
| 30日 | ◆議会運営委員会（出席4名、欠席1名）
・第3回定例会の運営について（1回目）
◆全員協議会（出席10名、欠席2名）
・コロナウイルスワクチン接種の進捗状況について
・オリパラホストタウン推進事業における事後交流事業の中止について
・江差町産業担い手育成事業について
・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について |
| 9月6日 | ◆総務産業常任委員会（出席6名）
・事務調査事件について |
| 14日 | ◆議会運営委員会（出席4名、欠席1名）
・第3回定例会の運営について（2回目）
◆第3回定例会（出席11名、欠席1名）
◆江差町各会計決算審査特別委員会（出席9名、欠席1名）
・令和2年度江差町各会計決算の審査 |
| 10月7日 | ◆総務産業常任委員会（出席4名、欠席1名）
・かもめ島周辺の拠点化に関する事務調査 |
| 13日～15日 | ◆広報特別委員会（出席5名）
・11月号議会だよりについて（1回目）
◆江差町各会計決算審査特別委員会（出席10名）
・令和2年度江差町各会計決算の審査 |
| 21日 | ◆広報特別委員会（出席5名）
・11月号議会だよりについて（2回目）
◆広報特別委員会（出席4名、欠席1名）
・11月号議会だよりについて（3回目） |

みんなの議会 傍聴しませんか 次の定例会は12月です。

日程は、町広報誌やホームページでお知らせします。

江差町議会本会議は、どなたでも傍聴することができます。

町民の皆様が選んだ議員の活動状況や、町政の方針などを議場で確かめましょう。

議会の傍聴は簡単で、都合の良い時間で傍聴できます。

皆様の傍聴をお待ちしております。

今号の表紙

☆南が丘小学校 学習発表会

本年度の学習発表会スローガンは「心をついに57人の気持ちを伝えよう！」でした。コロナ感染症の発生は、落ち着きを見せていますが、児童の皆さんは、発表者を除いては教室観戦となりました。会場となる体育館には、保護者の皆さんによる拍手のみで静かな応援となりました。1年生は、少し緊張ぎみ、6年生は小学校最後の発表会での熱意が伝わってきました。



（撮影者：塚本 眞 議会広報特別委員会委員長）

議会からのお願い 議会だより取材のため、議員が写真撮影に伺うことがあります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。